

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



柳亭市馬 独演会
【2011.2.5/能楽堂】

盛りだくさんの内容でたいへん満足しました。聴き終えた後、さわやかな気分になるお話でとてもよかったです。
(新潟市/30代/女性)

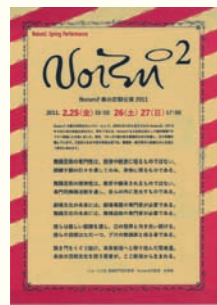
初市馬師匠の唄を初めて聴きました。上手いのはもちろん、とても良い声で聴き入ってしまいました。正楽師匠の紙切りも素晴らしくて感激しました。
(新潟市/女性)



石丸由佳 オルガンリサイタル
【2011.2.13/コンサートホール】

オルガン演奏を初めて聴きましたが、まるでオーケストラを聴いているようでいつまでも余韻が残りました。10年後、20年後の石丸さんにもぜひ出会いたいです。
(新潟市/60代/女性)

以前から聴きたいと思っていたパイプオルガンを今日初めて聴きました。りゅーとぴあコンサートホールの音響は素晴らしい、全身が音に包まれて幸せでした。2階正面の席で聴きましたが、次回はサイドの席で聴いてみたいです。
(長岡市/70代/女性)



Noism2 春の定期公演2011
【2011.2.25～27/スタジオB】

間近で舞台を見られて感動でした！汗のかき方、カラダの作り方、息の使い方、すべてを見せる舞台で本当に素晴らしかったです。今回初めて見ましたが、毎年絶対に見たいと思いました。(三条市/女性)

初めてNoismの公演を見たのですが、一人ひとりの個性がみんな違うのにみんな良かったです。若いパワーがあふれていてこっちにも伝わりました。
(新潟市/20代/女性)

真心一座身も心も ザ・ファイナル
「流れ姉妹 たつことかつこ～エンド・オブ・バイオレンス」
【2011.2.26・27/劇場】



新潟のお客さんは熱かった！物語の最後を迎える新潟での公演、気合と思入れがハンパないなっ！って感じでした。はるばるやって来て良かったです。
(神奈川県川崎市/30代/女性)

笑って笑って笑ってジーンときて…。
“明日への活力”になりました！！
(新潟市/20代/女性)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①

抽選で
ペア2組
4名様



イタリアンレストラン
「リバーージュ」(館内3F) ランチ券

プレゼント②

抽選で
ペア2組
4名様



Noism1 「OTHERLAND」

※2011年5月29日(日)17:00開演の公演のみとさせていただきます。

応募方法:ご希望の商品名(①「リバーージュ」ランチ券、②「OTHERLAND」公演チケット)、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌を入手した場所、本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.24プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募多数の場合は抽選、当選者の発表は賞品の発送(公演チケットは当選のご連絡)をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2011年4月30日(土) 必着



イタリアンレストラン
「リバーージュ」3F
TEL.025-224-7022
営業時間/ランチ11:30～14:30
ディナー17:00～21:00(LO 20:00)

やすらぎ堤お花見食育健康メニュー
(ランチタイムのみ)



緑あふれるやすらぎ堤を眺めながら、明るい開放的な空間で春のランチメニューをお楽しみください。

【期間】2011年4月30日まで

お一人様 ¥1,500(税込)

～メニュー～

- ・佐渡沖鮮魚のソテー桜海老のソースと牛ロース肉のタリアータ
- ・市内産ほうれん草添えの盛り合わせ
- ・新潟県産コシヒカリご飯
- ・桜風味のシフォンケーキ イチゴ添え
- ※スープ、サラダ、コーヒー付き(バイキング形式)
- ※館内イベント開催時等はご予約のお客様のみとさせていただきます。

【編集後記】

信濃川の河川敷にあるやすらぎ堤や白山公園の桜が満開になる春は、りゅーとぴあ周辺の散策がとても楽しい季節。もちろん、りゅーとぴあ5階の能楽堂や6階の展望ロビーから眺める桜もまた格別です。今号の表紙はりゅーとぴあから見える白山公園の満開の桜並木。桜の開花時期に開催される公演を鑑賞されるお客さまは、どうぞお花見もお忘れなく！晴れた日は屋上の空中庭園を歩くのもオススメです。(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティーセンター、みなとびあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アビール館、新潟県立図書館、新潟館ネバス(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など

■次号のりゅーとぴあマガジンvol.25は2011年7月1日発行予定です。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

Ryutopia Magazine

りゅーとぴあマガジン 2011 Spring vol.24 | Life with Performing Arts



【CONTENTS】

- Spotlight Interview 高嶋ちさ子 ぶらりFURUMACHI
- Noism Report 感動の余韻
- Ryutopia Navigation 読者プレゼント
- 山本真希の世界オルガン紀行

りゅーとぴあカレンダー 2011 Spring



高嶋ちさ子 デビュー15周年に贈る “女神たちの響宴”

4月23日(土)にりゅーとびあコンサートホールにて公演を行う高嶋ちさ子さんと12人のヴァイオリニスト。高嶋ちさ子さんは今年でデビュー15周年を迎えます。デビュー以来、一貫してクラシック音楽を親しみやすく紹介することを心がけ、クラシック・ファンの裾野を広げてきました。待望のりゅーとびあでの公演について意気込みをうかがいました。

—まずは活動15周年を迎えた現在の心境をお聞かせください。

最初の5年くらいは相当苦しみましたが、自分のやりたいこと、目指すことが見つかったからは、仕事なのか、趣味なのか……。楽しみながらやらせていただいているなと思っています。

高嶋さんは、常にクラシック音楽の一般的なイメージ「難しい、堅苦しい、敷居が高い」を払拭しようと意識されたコンサートを行っています。作品について解説するトークの時間を設けたり、お客様に舞台上上がってもらって指揮をしてもらうなど観客参加型のアクティブな内容になっています。もちろん彼女のキャラクターがにじみ出るようなエンターテインメント性も高く、クラシックのコンサートなのに「大笑いして楽しめる」のです。

—クラシック音楽を身近に感じさせるコンサート始めた経緯は?

あの薄暗い舞台に、たった1人で立ち、なにもしゃべらず演奏し……という従来のクラシックのコンサートは、自分が聴きに行くのは大好きですが、自分の身に置き換えると、考えられないな〜とずっと思っていました。どうぞお金を払うなら、美しい音楽を聴き思わず涙が出たり、面白い話を聞き笑いすぎて涙が出たり、素晴らしい演奏に拍手したり、そんな舞台ができればいいな、と思え出したんです。

2006年、デビュー10周年の年からはソロの活動だけでなく、「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」というプロジェクトを立ち上げました。メンバーはすべて一般公募で、実技・質疑応答を含むオーディションにより選抜されています。「ヴァイオリンの新たな可能性の探求と才能ある演奏家により多くの演奏機会を」というコンセプトを掲げ、若手音楽家を“発掘し支援する”という趣旨も持ち合わせている意欲

的なプロジェクトです。プロデューサーは高嶋さん自らが「見ても、聴いても、美しく、楽しいヴァイオリンアンサンブル」が誕生しました。

—12人のヴァイオリニストの魅力とはどのようなものだとお考えですか?

ヴァイオリン1本では味わえないような音圧を是非体感してください!!

音楽は見た目じゃないといいますが、やはりコンサートにいらしてくださった方には、音楽・楽曲の素晴らしさだけではなく、“非日常”を感じていただきたいので、若くて美しい12人のヴァイオリニストや、ドレスの華やかさなど、見ても聴いても美しく、楽しく、しかもちょっぴり笑えるようなそんな時間を楽しんでいただける……そこが魅力だと思います。

いよいよ15周年のアニバーサリー・イヤーである2011年、12人のヴァイオリニストとともにこれまでの活動の集大成となる「女神たちの響宴」と題したコンサート・ツアーがスタートしました。

—「女神たちの響宴」公演の見どころ・聴きどころは?

ヴァイオリン曲にかぎらず、クラシックの名曲から世界中を魅了しているディズニーまで、12本のヴァイオリンのためにアレンジしてお届けします。また、お客様に参加いただくコーナーもご用意していますので、楽しみにしてください。

—最後に、高嶋さんのコンサートを楽しみにしている新潟のファンへメッセージをお願いします。

素晴らしい音響のホールで、大好きな場所です。年に一回はこのホールで演奏したいね、と皆で話しているぐらいです。新潟のみなさまとまたお目にかかれるのを楽しみにしています。

文:結城美穂子



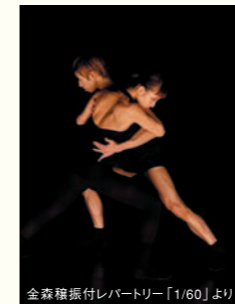
舞台のその先へ。 ひたむきに未来を見据える

研修生カンパニーNoism2が誕生して一年半。新潟で過ごしたこれらの年月を、彼らはどんな想いで受け止め、何を手にしてきたのだろう。初めての単独公演、メインカンパニーとの合同公演、繰り返される日々の鍛錬……。そして迎えた、Noism2のセカンド・シーズン。再び幕を開ける舞台の上で、いま若き舞踊家たちが示すものとは——。

写真:村井勇

小尻健太 演出振付作品「Inscription」より

まだ雪残る2月の新潟。Noism2単独公演『春の定期公演2011』が、いよいよその幕を開けた。プログラムを構成するのは、芸術監督・金森穂の旧作レパートリー2作品と、ゲスト振付家・小尻健太によるオリジナル新作の計3作品。第一部、金森が用意したレパートリーにまず目を奪われる。2000年に青山パレエフェスティバルで上演された『1/60』に、Noism1のレパートリー『NINA-物質化する生け贄』からの抜粋作『Heavy Ballerina』と、いずれも難度の高い名作揃い。これは研修生カンパニーに対する課題と希望、そして芸術監督としての揺るぎなき決意のあらわれなのか——。



金森穂振付レパートリー「1/60」より

冒頭、黒一色に沈むステージに、静かに浮かび上がる男女の影。目映いライトの中へ身を投げ、鋭利に空を切り裂いては息つく間もなく動きを重ねる。シンプルで、リリカルで、すべての要素が意味を持つ。だからこそ、ひとつとして誤魔化すことのできない、研ぎ澄まされた金森の作品世界……。何より目を引かれたのが、踊り手たちの迷いなき視線だ。ためらい、不安、躊躇の気配は欠片さえも見られない。あくまでも直球で、体力の限界なきように、踊り手たちはどこまでも若々しく、純粋で力強い。笑顔、葛藤、喜び、そして随所に散りばめられた言葉の数々。ひとつひとつの断片が、舞台上に刻まれる一瞬の軌跡を鮮やかに切り取ってゆく。“今日がまた過ぎていく 未来に一歩近づいた……”。劇中で語られる台詞が、舞台の先に待つ彼らの道程と同化する。カーテンコールでみせた、ひたむきに未来だけを見据える横顔——。その視線の先に何があるのか、共に見つめてみたいと願う。



金森穂振付レパートリー「Heavy Ballerina」より

どものともせず、全身全霊で舞台へと立ち向かう。1年前を振り返らずとも、その違いは歴然である。身体のライン、顔つき、目の色、エネルギー。そして何より凜とした佇まいが、大きな成長を伝える。

続く第二部は、小尻健太振付『Inscription』を上演。こちらは本公演のために創作された、

Noism2の新たなレパートリー作品である。小尻といえば、日本人男性として初めてネザール・ダンス・シアターIに入団を果たすなど、かの名匠イリ・キリアンも認めた確かな実力の持ち主。彼の作品に携わるということは、ダンサーにとって夢のひとつに違いない。「同じダンサーとしての立場から、“若い内にこういう経験をして欲しい”と思えるような、キャリアの原点となる作品を創作しようと考えた」と、発想のきっかけを語った小尻。その想いを体現するかのよう、踊り手たちはどこまでも若々しく、純粋で力強い。笑顔、葛藤、喜び、そして随所に散りばめられた言葉の数々。ひとつひとつの断片が、舞台上に刻まれる一瞬の軌跡を鮮やかに切り取ってゆく。“今日がまた過ぎていく 未来に一歩近づいた……”。劇中で語られる台詞が、舞台の先に待つ彼らの道程と同化する。カーテンコールでみせた、ひたむきに未来だけを見据える横顔——。その視線の先に何があるのか、共に見つめてみたいと願う。

取材・文:小野寺悦子

外部振付家招聘企画第4弾 OTHERLAND

2007年に発表した『W-view』以来、約4年ぶりに外部から振付家を招いての新作となる「OTHERLAND」。今回は、稲尾芳文&クリスティン・ヨット・稲尾と、アレッシオ・シルヴェストリンの2組を迎えます。さらに、ゲスト振付家による新作に加え、芸術監督・金森穂振付のレパートリーから『Psychic』を再振付し、3作品を上演します。極めて異なる身体性と世界観をもった振付家達と共にNoismが切り拓く新たな地平にご期待ください。

【日 時】2011年5月27日(金) 19:00
28日(土)・29日(日) 17:00
【会 場】りゅーとびあ劇場
【入場料】全席指定 一般¥5,000 学生¥2,500
演出振付:稲尾芳文&クリスティン・ヨット・稲尾、アレッシオ・シルヴェストリン、金森穂 出演:Noism1
同時上演(予定)『火の鳥』
演出振付:金森穂 出演:Noism2
*新潟公演では、金森穂振付によるNoism2の新作を同時上演いたします。



高嶋ちさ子
Takashima Chisako / ヴァイオリニスト
桐朋学園大学を経て、ユェール大学音楽学部大学院修士課程修了。年間100本近くのコンサートを全国で展開し、クラシックを身近なものにするために新たなジャンルを切り開いてきた。現在、演奏活動を中心としながら、コンサートプロデューサー、テレビ・ラジオ番組の出演、執筆活動など幅広く活躍中。今年でデビュー15周年を迎える。愛用器は1736年製のストラディバリウス(愛称:ルーシー)。高嶋ちさ子official web site http://www.j-two.co.jp/chisako/



高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト
女神たちの響宴 Information
【公演日】2011年4月23日(土) 15:00 【会場】りゅーとびあコンサートホール
【入場料】S席¥4,000 A席¥3,000 ※SSプレミア席、B席は完売
【曲目】愛の三部作(愛の挨拶〜愛の悲しみ〜愛の喜び)、ピゼーノ/サラサーテ:カルメン幻想曲、サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン、マスネ:タイスの瞑想曲 ほか
【出演】高嶋ちさ子、12人のヴァイオリニスト(ヴァイオリン)、近藤亜紀(ピアノ)

私たちはNoismの活動を応援しています
活動支援のお願い
Noismでは引き続きレジデンス活動を支援して下さる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくはhttp://www.noism.jp「活動支援」/りゅーとびあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。

